

重点目標評価シート I

<p>基本方針 I</p>	<p>府立図書館は、市町村立図書館を支援し、大阪府全域の図書館サービスを一層充実させます。</p>															
<p>現状と課題</p>	<p>市町村立図書館に対する協力貸出やレファレンス、研修等による支援のみならず、府域図書館の情報集約と提供にも努めてきた。しかし、図書館運営の多様化、図書館職員の非正規化が進む中、府域図書館間の連携や、業務に関するノウハウを維持・向上させるためには、より積極的に図書館間で情報を共有し、連携することが必要である。また、近年頻発する自然災害が発生した際の危機管理対応や迅速な情報共有のためにも、連携の強化、情報インフラの整備が求められる。 第三期まで、インターネットを活用した情報収集・発信は「大阪府内図書館員のページ」と「大阪府内図書館メーリングリスト」を中心におこなってきたが、日常的な連絡の効率化や、分館も含めた迅速な情報共有といった双方向のコミュニケーションには課題が残る。情報技術がますます進展する中、第四期では従来のツールによる運用を継続しつつ、電子掲示板など新たなコミュニケーションツールを活用し、府域図書館間ネットワーク機能の強化・充実を図っていく必要がある。</p>															
<p>重点目標</p>	<p>府域図書館間情報ネットワークの機能強化</p>				<p>成果指標と数値目標 電子掲示板など新たなコミュニケーションツールの運用</p>											
<p>取組内容</p>	<p>令和元(2019)年度 上半期</p>		<p>下半期</p>		<p>令和2(2020)年度 上半期</p>		<p>下半期</p>		<p>令和3(2021)年度 上半期</p>		<p>下半期</p>		<p>令和4(2022)年度 上半期</p>		<p>下半期</p>	
<p>情報ネットワークの機能強化</p>																
<p>評価</p>	<p>令和元(2019)年度</p>		<p>令和2(2020)年度</p>		<p>令和3(2021)年度</p>		<p>令和4(2022)年度</p>									
<p>図書館の自己評価</p>																
<p>協議会意見 (外部評価)</p>																

重点目標評価シートⅡ

基本方針Ⅱ	府立図書館は、幅広い資料の収集・保存に努め、すべての府民が正確な情報・知識を得られるようサポートします。							
現状と課題	資料費の効率的な執行と、寄贈資料の適切な受入により蔵書構築を行い、また大阪府域における保存図書館としての役割を果たすため、保存資料を精査し収蔵スペースを確保する取組を、今後も継続して進めていく。所蔵資料の一層の活用を図って、テーマ毎の資料展示や、Web上での資料紹介などの情報提供に努めてきたが、貸出冊数が漸減していることは課題である。ますます進展するデジタル環境のもと、商用データベースや電子媒体資料とともに、所蔵資料をより多くの府民へ、効果的に提供する方法を模索し、提示することが必要である。							
重点目標	重点目標項目				成果指標と数値目標			
	効果的な蔵書の構築				商用データベースや電子媒体資料と紙媒体資料の効果的な提供方法の提案			
取組内容	令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		令和3(2021)年度		令和4(2022)年度	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
効果的な蔵書の構築	調査検討チームの編成、文献調査、方向性検討	調査開始:学識経験者から意見聴取、先行館の見学・聞き取り、簡易報告まとめ、館内意見聴取	アンケート、データ抽出等、客観的データ収集方法の検討、府内市町村立図書館との連携の検討	市町村との合同調査チームの結成、調査準備(内容と項目の精査)	合同調査開始	調査結果の集約調査報告書案の作成	報告書案に対する館内、関係者、学識経験者の意見聴取、追加調査	調査報告書完成細部の精査、公表
評価	令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		令和3(2021)年度		令和4(2022)年度	
図書館の自己評価								
協議会意見(外部評価)								

重点目標評価シートⅢ

基本方針Ⅲ	府立図書館は、府域の子どもが豊かに育つ読書環境づくりを進めるとともに、国際児童文学館の機能充実に努めます。							
現状と課題	<p>「第3次大阪府子ども読書活動推進計画」(以下「第3次計画」)では、「発達段階や生活の場に応じて本と親しむことにより、全ての子どもが読書の楽しさと大切さを知り、自主的に読書活動を行うことができる環境整備に大阪全体で取り組みます。」の基本方針のもと、①子どもが本と出会うために(きっかけづくり)、②子どもが本と親しむために(本を読むことの習慣化)、③子どもが目的に応じて読む力をつけ、本から学ぶために(読む力、考える力の育成)、④子どもの読書環境づくりを支える人と体制をつくるために、の項目に取り組んでいる。</p> <p>府立図書館の第三期活動評価では上記④に基づき、「子どもの読書活動推進に貢献する人材育成」を重点目標として、府内全域における研修、講座等に取り組んできた。</p> <p>今期は引き続き研修等を実施するとともに、「第3次計画」基本方針で対象としている「全ての子ども」への読書活動を一層推進するため、第三期中に大阪府に移管された支援学校の児童、生徒をはじめ、矯正施設等にいる子どもたちを含む図書館の直接利用が困難、もしくは配慮が必要な子どもへの読書活動の支援について積極的に取り組む必要がある。</p> <p>既に実施している支援学校への図書館運営についての相談、読み聞かせやDAISY等の活用方法についての講師派遣等を継続して取り組むだけでなく、府域「全ての子ども」たちが必要とする支援を分析し、実施する。</p>							
重点目標	重点目標項目				成果指標と数値目標			
	図書館利用に配慮が必要な子どもへの読書活動支援				2019年度、アンケート調査に基づいた分析を実施 2020年度、ニーズにあった連携を協力施設と試行、報告作成 2021年度、広報し、本格実施(年2件以上) 2022年度、本格実施2年目(年3件以上)			
取組内容	令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		令和3(2021)年度		令和4(2022)年度	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
図書館利用に配慮が必要な子どもへの読書活動支援	図書館の利用に配慮が必要な子どもへ幅広くアンケート調査実施		試行		広報案作成・広報		広報	
	アンケート分析等		本格実施に向けた方向性検討・報告作成		本格実施		本格実施	
	まとめ・実施計画		まとめ・実施計画		まとめ・実施計画		まとめ・実施計画	
評価	令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		令和3(2021)年度		令和4(2022)年度	
図書館の自己評価								
協議会意見(外部評価)								

重点目標評価シートⅣ

<p>基本方針Ⅳ</p>	<p>府立図書館は、大阪の歴史と知の蓄積を確実に未来に伝えます。</p>															
<p>現状と課題</p>	<p>府立図書館が蓄積してきた大阪に関する資料を活用し、調査相談に加え、資料展示や講演会といったイベントを通じて大阪の歴史や文化に関する情報発信に努めている。その一方で、インターネットを通じて提供される情報はますます増大し、府内市町村立図書館や国立国会図書館、その他の機関等においても、大阪に関する有用な情報が多数公開されるようになってきている。平成30年度に構築した「おおさかポータル」は、当館所蔵資料のみならず、こうした外部機関提供の情報も含めて、大阪に関する確かな情報をより広く、深く、より効率的に利用者に提供することをコンセプトとしている。さまざまな機関とのデータ連携を広げ、多様なデータを結びつけることにより、データベースの質と利便性をともに向上させ、情報社会の進展とともにますます高度化する利用者ニーズに応えていきたいと考えている。</p>															
<p>重点目標</p>	<p>重点目標項目</p>				<p>成果指標と数値目標</p>											
	<p>市町村立図書館、大学、研究機関等とのデータベース連携の拡充</p>				<p>連携先数【4年間で10機関】</p>											
<p>取組内容</p>	<p>令和元(2019)年度 上半期</p>		<p>令和元(2019)年度 下半期</p>		<p>令和2(2020)年度 上半期</p>		<p>令和2(2020)年度 下半期</p>		<p>令和3(2021)年度 上半期</p>		<p>令和3(2021)年度 下半期</p>		<p>令和4(2022)年度 上半期</p>		<p>令和4(2022)年度 下半期</p>	
<p>「おおさかポータル」の充実</p>	<p>連携先との折衝、データ調整、システムへの反映</p>		<p>連携先との折衝、データ調整、システムへの反映</p>		<p>連携先との折衝、データ調整、システムへの反映</p>		<p>連携先との折衝、データ調整、システムへの反映</p>		<p>連携先との折衝、データ調整、システムへの反映</p>		<p>連携先との折衝、データ調整、システムへの反映</p>		<p>連携先との折衝、データ調整、システムへの反映</p>		<p>連携先との折衝、データ調整、システムへの反映</p>	
<p>評価</p>	<p>令和元(2019)年度</p>		<p>令和2(2020)年度</p>		<p>令和3(2021)年度</p>		<p>令和4(2022)年度</p>									
<p>図書館の自己評価</p>																
<p>協議会意見(外部評価)</p>																

重点目標評価シート V

基本方針 V	府立図書館は、府民に開かれた図書館として、地域の魅力に会う「場」と機会を提供します。							
現状と課題	府民が公立図書館に求めるニーズの変化や公立図書館における指定管理者制度の導入、業務委託の拡大など運営の多様化により、府立図書館を取り巻く状況は引き続き変化している。そこで、府立図書館は、未利用者層も気軽に利用できるよう、第三期から取り組んできた図書館の枠を超えた外部機関との連携等により、地域の魅力に会い、賑わいづくりに貢献できる、府民に開かれた図書館として広く親しまれるよう一層努める必要がある。							
重点目標	重点目標項目				成果指標と数値目標			
	≪5-1 中央図書館≫ 生涯学習事業における外部機関等との連携(展示・イベント等の企画実施)				参加者満足度 80%以上			
≪5-2 中之島図書館≫ 指定管理者との共同企画				参加者満足度 80%以上				
取組内容	令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		令和3(2021)年度		令和4(2022)年度	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
≪5-1 中央図書館≫ 外部機関等との連携								
≪5-2 中之島図書館≫ 指定管理者との共同企画								
評価	令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		令和3(2021)年度		令和4(2022)年度	
図書館の 自己評価								
協議会意見 (外部評価)								